館報 かみじょう

第93号
発行 上条公民館
館長 山本 弘
総括責任者 山本 明男
編集委員長 山本 弘
印刷所 カナイ美術印刷

区民の皆様へ

上条区長 小田 孝志

区長
小田 孝志

副区長
湯本 芳行

区民の皆様には、日ごろ区政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度、区長という大役を仰せつかりました西上組の小田です。微力ではありますが、湯本副区長と力を合わせ、上条会の青木理事長を始め、各役員の皆様にご支援ご協力をいただきながら、『明るく、楽しく、元気よく』をモットーに精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの事業を縮小、中止せざるを得なくなることが想定される中、前々からの懸案事項をじっくり取り組んでまいりたいと考えております。

『少子高齢化』、『人口減少』が進み、財源や人材の確保が年々難しくなることが予想される中で、事業の見直しは必然です。事業の洗い出し、問題点の抽出・整理、解決に向けた方策の検討。基本的には委員長会議を主体に進めたいと考えております。今年度どこまで出来るか分かりませんが、解決に向けた糸口になればと思っております。

また、新たな課題として近年大規模化してきた台風等の災害時の緊急対応にも取り組んでいく必要があると思います。

春になれば、梅、桜、モモ、りんご等様々な花がほぼ同時期に咲き乱れるとっても素敵な上条が、未来永劫発展していくこと、そのなかで区民の皆様が、コロナウイルスに負けず健康でご活躍されることをご祈念申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。一年間よろしくお願い申し上げます。

理事長就任にあたり

一般財団法人上条会理事長 青木 和美

理事長
青木 和美

副理事長
下田 康美

常務理事
市川 昭彦

区民の皆様には日頃、財法の事業に対しご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

本年、財法の理事長を務めさせていただきます。副理事長・常務理事共々、よろしくお願いします。

さて、昨年は災害が多く発生し、大変な年になりました。今年は、新型コロナウイルスが猛威を振るっており、終息の兆しが見えていません。東京オリンピック・パラリンピックも来年に延期になるなど、日本経済の動向も不安視されています。

このような状況の中で、財法としてもいろいろな事業に影響が出てくるのは必至かと思います。予期せぬ事態が起こればその都度迅速に対処してまいる所存です。

最近、上条会が管理している温泉施設を始め、引湯管など設備の老朽化が際立っています。三月には、引湯管が破れお湯が噴出しましたので、財法役員で修復をしました。

課題が山積する中、優先順位をつけながら課題解消に努め、各種事業に取り組んでまいります。

区民の皆様のご要望に対しては、改善できることは改善し、スピーディーに対応してまいりますので、何なりとお申し出ください。

最後に、温泉を利用されている皆様にお願いがございます。温泉マナー委員会を三年前に廃止させていただきました。その頃は何ら問題がありませんでしたが近頃、一部の方の浴場でのマナー違反が指摘されています。今後とも区民同士ギスギスせず、浴場を皆様の一つの社交場として利用していただければと思っています。

ここで、財法は新メンバーでスタートしました。今後も、温泉の維持管理、資産の管理運営をしてまいります。

財法をよろしくお願いします。

社会福祉事業を行う団体に助成します

一般財団法人上条会では地域の活性化や環境整備・地域振興を行っている団体及び公的施設の改修費等に助成金を支給します。

応募方法・選考方法等、詳しいことは上条会理事長：青木和美か、副理事長：下田康美までお問い合わせください。

総務委員会について

総務委員長 小林 文幸

総務委員長
小林 文幸

総務副委員長
関 博

今年、総務委員長を務めます和田組の小林文幸です。昨年は、貸地副委員長として区が所有する財産管理を通じ、色々と勉強させていただきました。更に、区役員の方々や諸先輩方、更に同期の協議員や組長さんとも交流を深められたことが、私にとって財産になったと感じています。総身委員長になり、先ず、区の重要事業の区費徴収会議を無事終了してほっとしています。目先の実務を処理するのが精一杯の感がありますが、早く業務に慣れ、自分なりの特色を実務の中で出せたらと思っています。昨年還暦を迎え、継続雇用制度により会社員を続けていますが、協議員を一年経験し、会社員が区の役を務めていくには、大変厳しい環境であることを実感しました。今後、現役で仕事をしながら区の役を担う人が増えていくものと思われます。負担を軽減し、両立できるような環境づくりは必要と思っています。一方、町全体が高齢化の中にあり、歳をとっても安心して暮らせるために、地域の役割は非常に重要と思います。そのために、今何ができるかを考えていく必要があると思っています。区の先人が築き上げてこられた文化や伝統、財産を大切に守り、また、刻々と変わる社会情勢にも対応しながら、今ある課題を精一杯実行してまいりますのでご支援をお願いいたします。

末筆ではありますが、新型コロナ感染症禍の中にありますが、お体を十分ご自愛され健康で過ごせますことを祈念いたします。

上條神社祭祀について（三）

上條神社宮司 前澤 三喜夫

上條神社年間祭祀は、神楽囃子が鳴り響く区民総出の祭を始め、区役員・農家組合長参列の祭、宮司一人奉仕の祭（毎月一日・十五日）等を含め約二十回に及びます。祭祀にはその重きにより大祭・中祭・小祭の別があり、今回その中の三大祭について記します。

【祈年祭】
（四月十一日）

『年』の字は『稔』に通じ、穀物・稲を意味します。それ故、祈年祭は一年の五穀豊穣を祈願し、併せてあらゆる産業の円滑な営みを祈る祭です。天武天皇四年（六七五）に律令国家祭祀として定められたものと考えられています。

【例祭】
（九月二十三日　前夜宵宮祭）

祭神または神社に由緒ある日をもって行う最も重い大祭です。ある意味、人に例えれば誕生日ともいえます。従って、祭の日程を人の都合で安易に変更することは望ましくありません。例祭は子供から大人まで地域を挙げての最大の祭です。たとえ時代が変わろうと、例祭は「村の鎮守の神様は…」で始まる尋常小学校唱歌『村祭』の情景と日本の原風景を今に甦らせてくれると同時に、地域の人々の絆を再確認させてくれる唯一の場でもあるといえます。また、この時小学校女子児童による浦安の舞が神前に奉納されます。尚、この祭には毎年神社本庁より本庁幣、長野県神社庁より幣饌料が供進されます。

【新嘗祭】
（十一月二十六日）
（にいなめさい・しんじょうさい…音訓の違）

春の祈年祭を受けて、収穫への感謝と神威を蒙る祭です。その起源は稲作開始の弥生時代に遡ると言われています。祭典日は明治六年の新暦採用以来十一月二十三日と定められ、現在の**【勤労感謝の日】**に引き継がれています。上條神社では毎年十一月二十六日に催行されています。

温泉委員長就任にあたり

温泉委員長
山本　広登

温泉副委員長
前澤のぶ子

温泉委員長　**山本　広登**

本年度、温泉委員長を務めさせていただきます山本広登です。

昨年は、温泉管理者として一年間、瑠璃の湯、富貴の湯の施設のメンテナンス、管理をさせていただきました。そして一番重要な源泉の管理を財法役員全員で行ってまいりました。春の就任から各施設でのトラブル、ドアサッシの不具合、湯船の排水栓の破損、窓ガラスの破損等、また源泉での温度調整の難しさ、突然の源泉のストップ、引湯管の破裂、大雪の中でのボーリング掃除、日々温泉施設の維持管理の困難さを痛感した一年でした。

素人の私を親切に指導いただき、この自然のモンスター源泉をうまく手懐けコントロールしてきた財法の先輩諸氏の皆様には、ただただ感服するのみです。

委員長就任にあたり、このモンスターを上手に手懐け、微力ながら区民の皆様に憩いの場を提供したいと考えております。

上条消防団

上条消防団部長
松澤　亮

令和二年度上条消防団部長を務めさせていただきます西下組の松澤です。四月一日より新体制の消防団活動を開始しました。昨年は大きな台風による災害があり、消防団員として火災だけではなく、災害復旧活動を行いました。地域の安全を守る上で団員として何をすべきか、考えさせられる年でした。今年はコロナウイルスが世界的に流行し、日本でもイベントの中止、外出の自粛と例年にはない大変な年となっています。山ノ内町消防団もその影響を受け、イベントの中止、延期と予測の出来ない年になりそうです。そんな中、上条消防団に一名の新入団員が入団してくれました。年々団員確保が難しい中入団して下さった事、これからも消防団活動が行えるのは、区民の皆様のご理解とご協力のおかげと感謝しております。今の消防団員は町外勤務が多く、全員揃っての消防団活動が難しくなって来ているのが現状です。今後も機能別消防団の方々にご協力頂きながら、日々の火災予防に努めてまいりたいと思います。消防団の使命は地域の皆様が安心、安全に過ごせるように、災害から守る事です。有事の際には、日頃の訓練を活かし、迅速な行動が出来るよう、団員一同精一杯務めて参りますので、よろしくお願い致します。

貸地委員会

貸地委員長
下田　二郎

貸地副委員長
内堀　伸夫

貸地委員長　**下田　二郎**

今年度、貸地委員長を務めさせていただく事になりました吉沢組の下田二郎です。一年間よろしくお願い致します。

貸地委員としては、上条区内の土地及び山林の維持管理を仕事として活動しています。また、湯河原一組の貸地の管理も行っています。

一般財団法人として所有地及び空地の売買も行っていこうと思います。また、ふれあい広場についてはグランドの管理遊具の点検を行い、安全で楽しく利用していただけるように管理等をしていきます。

上条育成会

会長　**佐怒賀　和美**

本年度、育成会長を務めさせていただきます、西上組の佐怒賀と申します。

区民の皆様には日頃より子供達の成長を温かく見守っていただき、また育成会活動に際しましても、格別なご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。

山ノ内町全体を見ますとやはり、年々少子化が進んでいるのが現状であり、ここ上条区も例外ではありません。社会の変化に伴い、子育ての環境が複雑になってきてはいますが、地区から子供の声が聞かれなくなっていくのは淋しいものです。この上条区より、たくさんの人材が社会へと飛び立っていけるよう、今後も皆さまに温かいご支援をお願いしたいと思います。ご存じの通り、世界が経験したことのない脅威、新型コロナウイルス禍での育成会の発足となり、今後の活動をどのようにしていけば良いか模索中ではありますが、上條神社常例祭の神楽引き、浦安の舞などの伝統行事の継承、夏休みのレクリエーション等々…子供達の安全を第一に考えながら、役員一同、力を合わせて務めていきたいと思います。

引き続き皆様のご指導とご協力をお願い致します。

令和２年度 上条区 新１年生の紹介

令和２年度
山ノ内町東小学校

石原（いしはら）　晴（はる）くん（下手）
内堀（うちほり）　岳志（がくし）くん（和田）
内堀（うちほり）　貴心（きしん）くん（吉沢）
小田（おだ）　慶眞（けいしん）くん（西上）
笹井（ささい）　ひまり（ひまり）さん（西下）
佐藤（さとう）　愛菜（まな）さん（中村）
中山（なかやま）　樹（いつき）くん（和田）
室田（むろた）　浩希（ひろき）くん（中村）
以上、８名です。
みんな大きく羽ばたけ！

土木委員会

土木副委員長
関　友之

土木委員長
山本　清廣

土木委員長　**山本　清廣**

今年度も、昨年度に引き続き土木を担当します西上組の山本です。ご協力宜しくお願いします。

昨今、地球温暖化の影響ともいえる積雪の減少や、大雨になる事があり、小河川で水が至る場所であふれ、道路と河川の区別の出来ない場所も見受けられました。現状を把握する中で、町と連携し、緊急度の高いものから順次取り組んで、一件でも多く事業を進めたいと思います。

社会委員会

社会委員長
山本　明男

社会副委員長
湯本　清美

社会委員長　**山本　明男**

今年度、社会委員長になりました湯河原２組の山本明男です。一年間よろしくお願いします。

まず、皆様の協力で、ここに館報が発行出来た事に御礼申し上げます。

さて、社会委員会では、区民の皆様の親睦を深めるため、各団体の皆様と連携しながら事業を予定していますが、本年度は、新型コロナウイルスの影響でどこまで実施出来るか不透明な面もあります。区民の皆様にご迷惑をかける場面もあるかもしれませんが、ご理解ご協力の程宜しくお願いします。

令和２年度　上条区役員名簿

役名		組名	氏名
議長		下手組	小林　一
区長		西上組	小田　孝志
副区長兼会計		中村組	湯本　芳行
町議会議員		吉沢組	西　宗亮
総務委員長		和田組	小林　文幸
総務副委員長		西下組	関　博
土木委員長		西上組	山本　清廣
土木副委員長		中村組	関　友之
社会委員長		湯河原2組	山本　明男
社会副委員長		西上組	湯本　清美
社会副委員長（上条公民館長）		下手組	山本　弘
社会副委員長（上条公民館主事）		湯河原2組	小池　茂
社会副委員長		東村組	佐藤　將
社会副委員長		湯河原1組	保坂　睦治
組長会長	社会	西上組	松田　明
組長（副）	社会	中村組	坂口　長造
組長	社会	下手組	三原　聡
組長	社会	西下組	作道不二雄
組長	社会	吉沢組	後藤　剛
組長	社会	東村組	湯本　重則
組長	社会	堤　組	関　誠
組長	社会	和田組	内堀　泰子
組長	社会	県住組	小林喜美男
組長	社会	湯河原1組	関　好夫
組長	社会	湯河原2組	藤沢　邦幸
監査委員		湯河原1組	佐藤　一夫
監査委員		堤　組	松橋　修身
監査委員		湯河原2組	佐藤　公男

役名	組名	氏名
財法顧問	堤　組	高相　守
財法理事長	西上組	青木　和美
財法副理事長兼会計	吉沢組	下田　康美
財法常務理事	西上組	市川　昭彦
温泉委員長	西下組	山本　広登
温泉副委員長	和田組	前澤のぶ子
温泉管理者	吉沢組	藤沢　省吾
貸地委員長	吉沢組	下田　二郎
貸地副委員長	下手組	内堀　伸夫
評議員会長	吉沢組	関　芳貢
評議員	湯河原2組	山田　一見
評議員	西上組	坂口　安克
評議員	下手組	関　慎一
評議員	西上組	滝沢　英次
代表監事	西下組	宮崎　秀美
監事	西下組	伊藤　二郎

氏子総代長	下手組	佐藤　武士
氏子総代	湯河原1組	宮沢　候一
氏子総代	西下組	天田　博司
氏子総代	東村組	石井　雄一

水利組合長	西下組	滝沢　孝夫

書記	和田組	川谷めぐみ
上条研修センター	管理人	加藤加津江
	山ノ内町大字平穏3986-2	